

安心と信頼、良質なてんかん・神経の包括医療

## 静岡てんかん・神経医療センター情報誌

令和3年 春 第65号

# あかり

A K A R I

新型コロナウイルスワクチン接種の様子	1
パープル・デー2021	2
コンピュータ断層撮影装置(CT)が新しくなりました	2
防火訓練の実施について	3
令和3年 永年勤続表彰式を執り行いました	3
新人自己紹介 新採用者	4
新人自己紹介 転入者	6
外来再診の診療体制/医療連携室	7
はじめて当院を受診される方へ/当院へのアクセス/本	8

### 新型コロナウイルスワクチン接種の様子

令和3年5月より静岡てんかん・神経医療センター職員及び委託業者(売店・清掃など)の新型コロナウイルスワクチン接種を開始しました。

ワクチン接種後も職員のコロナウイルス感染対策を継続して行い、安心・安全な医療の提供に努めてまいります。



ワクチン接種を受ける今井副院長先生



ワクチン接種を受ける津牧放射線技師長

# パープル・デー2021



着け、世界中で活動を行っています。

パープル・デーは2008年に、カナダの当時9歳だった、キャシディー・メーガンさんによって始められ、ラベンダーのパープル(紫)がてんかんの国際的イメージカラーであったことから、パープル・デーと名付けられました。

キャシディーさん自身がてんかんに苦しんでおり、病気についての誤解を解くために話し合い、世界中のてんかんを持つ人が「自分たちは決して一人ではないんだ」と知ってもらうとともに、一般の人たちにもてんかんに関する正しい知識を広めることを目的としています。

パープル・デーとは、毎年3月26日にてんかんへの関心、意識を高めるために、紫色の物を身に

例年静岡市役所において開催

されるイベントに出展し、皆様にパープル・デーのことを直接紹介しておりましたが、残念ながら今年のパープル・デーは昨年と同様に新型コロナウイルス感染防止のため、開催中止となってしまいました。また、病院内でのイベントも自粛し、質素な形でのパープル・デーとなりました。

病院正面玄関自動ドアに紫色のツリーをあしらった飾り付けや、外来ロビーに紫を基調とした花を設置しました。

てんかんが誰にでもかかりうる可能性があり、いろいろな症状があることを理解して頂き、

一人でも多くの方が早期発見、治療につながるようになっていくようこれからもてんかんに関する活動を行ってまいります。



## コンピュータ断層撮影装置(CT)が

## 新しくなりました



キヤノンメディカルシステムズ製16列マルチスライスCT  
【Aquilion Lightning】

短時間ながら広範囲の撮影が行え、頭部外傷・脳出血・脳梗塞等の頭部疾患から胸部および腹部疾患にいたるまで、全身の診断が可能です。

X線と多列検出器を用いることで、身体  
の断面画像を撮影できる装置です。

開口径780mmのスキヤナにより圧迫感が  
なく検査を受けていただけます。

『被ばく低減再構成』の技術を搭載してお  
り、撮影時間の短縮によって被ばく線量が  
最大75%低減する事が可能となりました。

(診療放射線技師長 津牧 克己)

## 防火訓練の実施について

庶務班長  
池上 浩明

令和3年3月19日(金)に新型コロナウイルス感染防止を考慮して防火訓練を実施しました。

訓練は震度6の地震が発生し、病棟で火災が発生したことを想定して、火災発見・通報・患者の避難・誘導及び初期消火の訓練を行うと共に、防災意識の向上を目指して行いました。

これからも万が一、地震や火災が発生した場合に備えて訓練を実施していきたいと考えています。



① 消火訓練の様子



② 通報訓練の様子



③ 避難訓練の様子



④ 本部へ被害報告を行っている様子



⑤ 病院長へ最終報告を行っている様子



## 令和3年 永年勤続表彰式を執り行いました

永年勤続表彰は、国立病院機構に長年に亘って勤務され、地域の患者さまへ医療の提供や、質の向上などを努められた方を表彰するものです。

令和3年度の表彰は、

勤続年数 30年 看護師長 鈴木淑夫さん

勤続年数 20年 RI検査主任 岸田衣里さんです。

表彰式では、高橋院長先生から表彰状と記念品が贈呈され、感謝のお言葉がありました。

受賞者の皆様おめでとうございます。



## 新人自己紹介

### 新採用者

#### 小児科レジデント

#### 松丸 重人

小児科レジデントの松丸重人です。よろしくお願い致します。

御迷惑をおかけすることもあるかと思いますが、一生懸命やるつもりです。

趣味はサッカーや映画の鑑賞です。

#### 小児科レジデント

#### 水谷 聡志

4月から赴任しました水谷聡志と申します。愛知県出身で、大阪で小児科医として勤務してきました。

卒後9年目でまだまだ未熟であり、至らないことも多いかと思いますが、日々精進して参ります。どうぞよろしくお願い致します。

#### 脳神経内科レジデント

#### 丹野 雄平

てんかんの診療について多くのことを吸収できるように努力して参ります。よろしくお願い致します。

#### 脳神経内科レジデント

#### 竹子 優歩

前職では様々な神経疾患の診療をする傍らで脳梗塞の患者さんに対するカテーテルを用いた血行再建術に携わっておりました。一方でてんかんの患者さんをじっくり診療する機会は少なく、素人状態ですので、初診にかえて勉強して参ります。よろしくお願い致します。

#### 精神科レジデント

#### 澤木 悠人

昨年度まで公立豊岡病院(兵庫県)で精神科医として勤務しておりました。てんかん診療について深く学びたいと考え当院での研修を希望しました。不満足なソクラテスの様に、日々精進できればと思います。

#### 脳神経外科レジデント

#### 小川 博司

脳神経外科医として外科治療成績の向上に貢献したいです。

北海道出身で、アイスホッケーを長年プレーしてきました。静岡でも冬季国体の静岡県代表を目指して頑張ります。

#### 臨床検査科 臨床検査技師

#### 山本 清璃

患者さんに寄り添った検査、丁寧な接遇を心掛けて頑張っていきたいと思っています。よろしくお願い致します。

#### 看護部A2病棟 看護師

#### 櫻井 春菜

4月から新人看護師として勤務させて頂くことになりました。

患者様・ご家族の心に寄り添えるよう、常に向上心を持って明るく元気に頑張りますので、よろしくお願い致します。

#### 看護部A3病棟 看護師

新しい環境に不安や緊張はありますが、患者様やご家族の皆様の力になれるよう、一生懸命努めて参りたいと思います。どうぞよろしくお願い致します。

**看護部A3病棟 看護師**

4月から静岡てんかん・神経医療センターに入職しました。

まだ右も左もわかりませんが、一生懸命がんばって1日でも早く皆さんの力になりたいです。よろしくお願いします。

**看護部A4病棟 看護師 河崎 結稀**

A4病棟に配属になりました河崎結稀です。

富山県出身です。1日でも早く仕事を覚えられるよう頑張りますので、よろしくお願いします。

**看護部A5病棟 看護師 大石 祐也**

A5病棟に配属となりました大石祐也です。

日々勉強し、知識や技術を身に付けて患者様に寄り添った看護が出来るように頑張っていきたいと思います。

**看護部A6病棟 看護師 野澤 咲花**

自分の言動に責任を持ち、常に学ぼうとする姿勢を忘れずに取り組みます。自分自身や共に働く仲間、先輩方、そして患者さんのことを大切にできる人でありたいと思います。よろしくお願いします！

**看護部B1病棟 看護師 佃 美穂**

4月からB1病棟に配属になりました佃です。趣味は篠笛。好きなことはキャンプですが、しばらく行けていません。病棟勤務は約7年ぶりになるので、不安もありますが、1日も早く業務を覚え皆さんの足を引っばらないように、そして患者さん家族としっかり関わられるように頑張ります。よろしくお願いします。

**看護部B2病棟 看護師 戸谷 法加**

患者さんの気持ちに寄りそった看護を行うことで信頼関係を築き、患者さんが安心してすごせる環境をつくっていきたいです。

**看護部C1病棟 看護師**

重症心身障がい患者様たちが、毎日の生活を苦痛なく穏やかに過ごすことのできるように支えていきたいです。笑顔を忘れずに頑張ります。

**看護部C2病棟 看護師 桑澤 里彩**

**抱負** ■ 看護師として働くことへの期待と不安で毎日ドキドキしています。至らぬ点ばかりですが、自分にできることを精一杯頑張りたいと思っていますのでご指導のほど、どうぞよろしくお願い致します。

**趣味・特技** ■ ピアノを弾くこと

**看護部C2病棟 看護師**

新しい病院で仕事をすることに不安もありますが、常に笑顔でいられるよう努力していきたいと思います。ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いします。

**事務部 一般職員**

私の座右の銘は「聞くは一時の恥、聞かぬは一生の恥」です。

分からないことは上司の方々に聞いて教えていただき、早く仕事を覚えたいと思います。

## 新人自己紹介

### 転入者

薬剤部 薬剤部長

**古屋 裕之**

三重病院から赴任しました。どうぞよろしく  
お願いします。

薬剤部 調剤主任

**稲葉 真実**

初異動で不安な事ばかりですが、頑張りたいと  
思います。新しい環境を楽しめたらと思っています。

臨床検査科 病理主任

**太田 久雄**

国立長寿医療研究センターから着任しました。  
本病院勤務は6年ぶりです。懐かしい感じがします。  
新任地におきましても、心を新たに頑張りたい  
と思っていますので、宜しくお願い致します。

看護部A2病棟 看護師長

**横地 早苗**

A2病棟に配属になりました、看護師長の横  
地です。

「自分は常に最善を尽くしているか?」こんな  
言葉を反芻しながら、スタッフにも患者様にも  
快適な環境を作るよう取り組んでいきます。

看護部A5病棟 看護師長

**内田 ゆかり**

静岡医療センター附属静岡看護学校から転入  
して来ました。

学校に10年近く勤務していましたので、久々  
の臨床です。

患者様と御家族の方が安心して療養できます  
様に、スタッフと共に頑張りたいと思います。

看護部A2病棟 看護師

**長谷川 彰子**

神経難病の患者さまへの細やかな的確な対応  
に自分もできるかと不安もありますが、専門性  
の高い知識や技術を日々学び頑張りますのでよ  
ろしくお願いします。

看護部A4病棟 看護師

**笹原 千尋**

静岡医療センターから異動になりました。  
てんかん・小児看護の勉強を行い、患者さん  
が少しでも安全で安楽な入院生活を送れるよう  
がんばります。

看護部B2病棟 看護師

はじめまして。静岡医療センターから来まし  
た真野春佳です。

休日は犬と遊んだり、お買い物をしたりして  
過ごしています。

患者さまに寄り添った看護が出来るように頑  
張りますので、よろしくお願い致します。

事務部 管理課長

**北山 淳一**

国立病院機構では御世話になって今年で勤続  
30年を迎えることが出来ました。

今までの経験を生かし、縁の下の力持ち的な  
存在で業務に励みたいと思います。

どうぞ皆様よろしくお願ひいたします。

事務部 経営企画係長

**近藤 範康**

天竜病院から異動してきました。どうぞよろ  
しくお願いします。

事務部 契約係長

**増田 洋**

4月から静岡医療センターより契約係長とし  
て赴任しました増田と申します。

静岡てんかん・神経医療センターは自然あふ  
れる風光明媚な場所に立地する病院で、穏やか  
に時間の流れる印象でございました。契約業務  
は5年半ぶりになり、少々のブランクがあるた  
め、過去の記憶を手練り寄せながらの業務とな  
り、ご迷惑をおかけすることがあるかと思いま  
すが、よろしくお願い致します。

## 診 療 体 制

### てんかん科

午前の診療時間は8:30~12:00 午後の診療時間は13:00~16:30

診察室	初 診					再 診				
	月	火	水	木	金	月	火	水	木	金
第1診察室							山崎	川口	山崎	白井
第2診察室					荒木 保清	徳 本	池田仁 <small>午前のみ</small>	荒 木	大 松	
第3診察室		今井 克美		白井 直敬	今井 克美	今 井				
第4診察室								日 吉 <small>(代診)</small>		川 口
第5診察室						池 田仁	池 田浩	池 田浩	寺田清 <small>(代診)</small> <small>※第4週はなし</small>	
第6診察室						芳 村			芳 村	松 平
第7診察室			山口 解冬				荒 木			山 口
第8診察室	高橋 幸利			高橋 幸利			西 田	高 橋		近 藤
第9診察室		川口 典彦	芳村 勝城			重 松			大 谷	大 谷
第12診察室	西田 拓司		松平 敬史	池田 仁	山崎 悦子					

### 脳神経内科

■ 初診

診察室	曜日	月	火	水	木	金
第10診察室	午前	高嶋	小尾	小尾		小尾
	午後	小尾 智一	小尾 智一	小尾 智一		小尾 智一
第11診察室	午前	杉浦	杉浦			山崎
	午後	杉浦 明		寺田 達弘		山崎 公也 <small>尾内 第4週</small>
第13診察室	午前			高嶋		

### 特殊外来

認知症疾患医療センター	月・水	小尾 智一
	金	山崎 公也
遺伝カウンセリング外来	適宜	高橋 幸利 小尾 智一

再来診療は予約制です。予約が出来ない場合は午前中にお越しく下さい。

### 地域医療連携室のご案内

医療機関間のコミュニケーションを円滑に行なうために、地域医療連携室を設置しています。ご利用ください。(平日)

T E L ■ 054-246-4580

F A X ■ 054-246-4607

E-mail ■ 307-renkei@mail.hosp.go.jp

当院では、脳波、筋電図、誘発電位、脳磁図、終夜ポリグラフ、CT、MRI、SPECTなどの検査が可能です。共同利用も可能です。上記、地域医療連携室にお問い合わせください。

### 広報誌編集委員会

#### 編集人 ■

西田 拓司      松下 剛      横山 由香  
矢嶋 隆宏      佐倉 裕二      葛城 裕幸  
田中佐代子      高橋 輝      長田 英喜  
福島 啓介

発行 ■ 令和3年6月18日

国立病院機構

静岡てんかん・神経医療センター  
〒420-8688 静岡市葵区漆山886

T E L ■ 054-245-5446

F A X ■ 054-247-9781

U R L ■ <https://shizuokamind.hosp.go.jp>

E-mail ■ 307-shizuokamind@mail.hosp.go.jp

## はじめて当院を受診される方へ

### ◆診察は予約制になっています◆

#### 1 受診のための手続きは…

予約は、本人・家族は予約センター(054-246-1065)、病院からは地域医療連携室(054-246-4580)  
その際、ご本人の氏名・性別・生年月日・住所・電話・保護者氏名をお尋ねいたします。電話をいただきますと、その場で受診日を決め、折り返し当院からくわしい書類をお送りいたします。

#### 2 緊急を要する時は…

受診日は病状に応じてできるだけ対応いたしますので、緊急を要する時はその旨をご連絡ください。

#### 3 紹介状について

現在すでに病院へかかっておられる方は、主治医の紹介状があることが望ましいですが、なくても結構です。紹介状がない場合は別途費用(2,750円)がかかりますので、ご了解ください。病院からの資料もあれば望ましいですが、なくても結構です。

#### 4 セカンドオピニオンについて

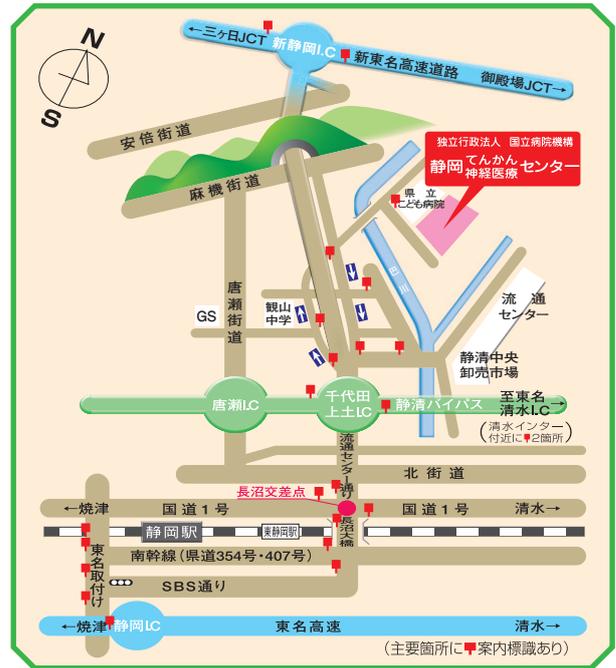
セカンドオピニオンもお引き受けいたします。

#### 5 静岡市認知症疾患医療センターについて

認知症の受診やご相談は専門医療相談 ☎054-246-4608

## 当院へのアクセス access

バスをご利用の場合	● JR静岡駅前、北口バスターミナル5番線より静岡鉄道バスにて、こども病院線「67 こども病院・神経医療センター」行に乗車、終点の「静岡神経医療センター」で下車。全所要時間は約30分。 片道料金は大人370円、小児190円。
タクシーをご利用の場合	● JR静岡駅前(北口)より乗車。 所要時間は約20分。料金は2,500円程度。
お車の場合	● 東京方面から ● 東名高速清水インターより、静岡バイパスを静岡方面に向かい、千代田・上土出口から流通センター通りを北へ約3分。所要約20分。 ● 御殿場JCTで新東名高速道路へ乗換。新静岡ICより、案内板に従い直進。所要時間約7分。
	● 名古屋方面から ● 東名高速静岡インターより、国道1号線を清水方面に向かい、長沼交差点を左折、流通センター通りを北へ約10分。所要約30分。 ● 新東名高速道路・新静岡ICより、案内板に従い直進。所要時間約7分。



## 本

### ●抗てんかん薬ポケットブック(改訂第6版)

【日本てんかん協会、2016年】

禁忌、重大な副作用、重大な副作用疾患別症状、体内動態と主な副作用、相互作用、抗てんかん薬プロフィール、新規抗てんかん薬の開発状況、Q & A、識別コード(錠剤のみ)を掲載。

### ●てんかん症候群(第5版)

～乳幼児・小児・青年期のてんかん学～  
【中山出版、2014年】

てんかん学の「ブルーガイド」として世界的に普及している「Epileptic Syndromes(原書第5版)」の日本語翻訳版です。4版よりも10%以上ボリュームが増え、より詳しい内容になり、他では決して得られない極めて貴重なてんかん発作の動画付き。静岡てんかん・神経医療センターのスタッフが総力をあげて翻訳しています。

### ●新 小児てんかん診療マニュアル 【診断と治療社、2019年】

多くの読者に支えられ改訂を重ねてきた本書。今回、2017年の新しいILAE てんかん発作分類提案に基づいた小児てんかん診療を可能とするために、ここに「新版」として生まれ変わりました。新規抗てんかん薬だけでなく、新分類で重視される病因別の特徴や心因性非てんかん発作、遺伝子検査、MRSといった新しい画像検査など、てんかん学の進歩をたくさん詰め込みました。

### ●プライマリ・ケアのための

### 新規抗てんかん薬マスターブック(改訂第2版)

【診断と治療社、2017年】

「副作用のない治療によるてんかん発作の完全抑制」は、治療を担当する医師および患者さんとそのご家族にとって、切実な願いです。2006年以降、「新規抗てんかん薬」とよばれる新しい抗てんかん薬が順次発売され、今後しばらく、新規抗てんかん薬の発売が続くと予想されています。本書は、これらの新規抗てんかん薬の使い方をわかりやすく解説したものです。小児と成人に分けて、エビデンスやガイドラインに基づいて、当院のスタッフがわかりやすく執筆しています。当院高橋幸利先生の編集です。

## てんかん情報センターのご案内

てんかんに関するさまざまな情報を集積したセンターが外来棟1階にあります。どうぞご利用ください。次の活動を行っています。

- 1 てんかんに関する書籍・雑誌・ビデオなどの閲覧・貸し出し(自己学習)
- 2 ホームページによる情報提供 <https://shizuokamind.hosp.go.jp/epilepsy-info/>
- 3 てんかん協会との連携
- 4 医療などの相談(予定)